

# ねりま



# 地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター

vol.71

練馬区の  
地域活動団体などを  
毎月紹介しています!

## 今月の紹介団体 \*\*\*\*



2面

放課後キャンパスクラブ  
只野 公朋(ただの きみとも)さん



3面

NPO法人「練馬ぱそぼらん」  
大隅 美智子(おおすみ みちこ)さん



## 春爛漫スイーツスタンプラリー

～お菓子deつながるプロジェクト～

練馬区との協働事業である、地域おこしプロジェクトの一環です。

大泉地域のお菓子づくりのプロフェッショナルが結成した団体「大泉パティシエクラブ」が、“春”をテーマにスタンプラリーを開催します。スタンプラリーには、チラシもしくはスマートフォンから参加可能です。スタンプを集めた方から抽選で、合計110名様に、イベント対象店舗のお菓子の詰め合わせ(5,000円相当)等をプレゼントします。

【開催期間】3月27日(月)～4月16日(日)

【スタンプを手に入れるには】

- ① 対象の各店舗で540円以上(税込)のお買い物をすると、スタンプが1つもらえます。
- ② さらに、大泉パティシエクラブのSNSのいずれかのフォロー画面を見せると、もう1つスタンプがもらえます。

※① 対象店舗1店舗につき獲得できるスタンプは1つで、お買い上げ金額に比例しません。

※② 複数のSNSをフォローしても獲得できるスタンプは1つです。



主催：大泉パティシエクラブ・練馬区 参加方法、対象店舗、景品など詳しくはホームページをご覧ください。



## 子どもたちが自由に過ごせる放課後の居場所

### 放課後キャンパスクラブ



代表理事の只野 公朋さん

障害の有無にかかわらず、どんな子どもたちも安心して自由に過ごせる放課後の居場所を提供しているのが「放課後キャンパスクラブ」です。対象は小学生。月4回、木曜日に、石神井台のシェアスペース「R(アール)」で活動しています。

代表理事の只野さんがこのクラブを立ち上げたのは2022年5月。共食を通して地域の居場所を作りたいと2015年に始めた「ダイコンこども食堂」で、初めて発

達障害の子どもと接した経験がきっかけとなりました。

「発達に障害がある子どもが放課後に過ごせる場所は自宅か放課後等デイサービスだけで、体験できることもごくわずか。障害の診断がつかないグレーゾーンの子もたちは普通の学童クラブには馴染めず、放課後の居場所がないんです」と、只野さん。子どもたちが自分でやりたいことを考え、のびのびと過ごせる居場所を作りたいと思うようになったと言います。

現在通っている子どもは4名。クラブで用意している教育版「マインクラフト(Minecraft)」が大人気で、ここではみんながほとんどパソコンに向かってるそうです。ゲームとしての面白さはもちろん、近年は課題解決力や創造力などを育む学習効果にも注目が集まっているマインクラフト。不登校の子ども、光が丘から通っているという子ども、時間



子どもは無料、保護者は300円で手作りの夕食を提供しています

を忘れてずっと遊んでいるのだとか。

また、こども食堂の経験を生かし、栄養バランスを考えた手作りの夕食を提供しているのも特徴のひとつ。付き添いの保護者も一緒に食事をしながら、子どもたちの普段の様子などを聞くことができる貴重な時間だそうです。

障害の有無によって子どもの居場所を分けることに違和感を感じていたという只野さん。「触れ合う機会がなければ接し方もわからないし、理解もし合えない。そういった心のバリアを取り払うためには、一緒に過ごしながら障害のことを自然に学べる環境が必要だと思うんです。将来的には常設の拠点をもちたいと思っています」と、思いを語ってくれました。

現在3名のボランティアの方が手伝っているそうですが、一緒に活動する地域の仲間をもっと増やしていきたいとのこと。興味のある方はぜひご連絡を!

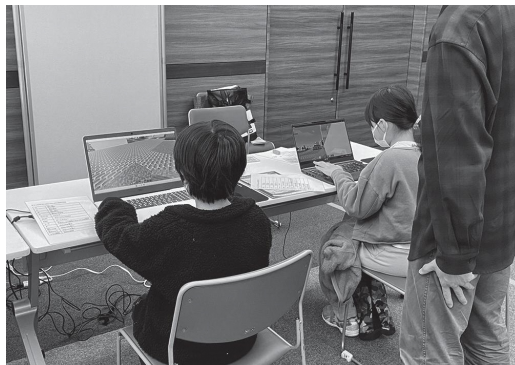
#### ■放課後キャンパスクラブ

代表理事：只野 公朋

ホームページ：

<https://www.as-campusclub.org/>

メール：contact@as-campusclub.org



練馬つながるフェスタ in 練馬(2023年3月開催)に出展したブースでは、来場した子どもたちがマインクラフトを体験!

## 地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

### 公益財団法人みずほ教育福祉財団

#### ■「老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業」

**【助成対象】** 地域共生社会の実現につながる活動を行っている高齢者中心のボランティアグループおよび高齢者を主な対象として活動しているボランティアグループに対し、継続的に使用する用具・機器類の助成を行います。

**【助成金額】** 1件あたりの上限額：10万円

**【応募期限】** 2023年5月19日

#### ■「配食用小型電気自動車寄贈事業」

**【助成対象】** 高齢者向けに配食サービスを行っている非営利の民間団体に対し、配食用小型電気自動車を寄贈します。

**【寄贈内容】** 配食用小型電気自動車1台

**【応募期限】** 2023年6月9日

**【関連URL】** <http://www.mizuho-ewf.or.jp>

**【問い合わせ】** 〒100-0005千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービルディング 公益財団法人みずほ教育福祉財団 福祉事業部

E-mail: fjp36105@nifty.com TEL: 03-5288-5903 FAX: 03-5288-3132

※お問い合わせはできるだけE-mailをご利用ください。

# 障害のある方々の生活をIT技術で豊かに彩る

## NPO法人 練馬ぱそぼらん



代表理事の大隅 美智子さん(中央)と会員の皆さん

障害のある方を対象に、パソコンなどでIT支援をしている「練馬ぱそぼらん」。主な活動は、障害のある方のための「パソコン教室」と「個別(訪問)サポート」、そして、新たなボランティアメンバーを育てる「ボランティア養成講座」です。今から27年前、練馬区主催のパソコンボランティア養成講座に参加した熱意あふれるメンバーが中心となり、1996年に発足しました。



子どもから大人まで、さまざまなITツールを楽しむ来場者。練馬つながるフェスタin練馬(2023年3月)出展ブースにて

障害のある方を対象にしたパソコン教室は区からの委託で、6月・10月・1月の年3回開催。入門、Word、Excel、タブレット、読み

上げソフトの5コースがあります。

個別サポートは独自に実施しているもので、外出が難しい人の場合は自宅へ訪問します。いずれも受講生の障害の状況やパソコン環境、習熟度、要望などを事前に細かくヒアリングし、個々に合わせた対応をしているとのこと。

「単にパソコンの操作やテクニックを教えるのではなく、パソコンを使ってその人がいかに生活を楽しめるかを考えます。何をしたいか、どんな方法が合っているのか、コミュニケーションを取りながら一緒に考えることを大切にしています」と理事長の大隅さん。

最近では、「動画編集を覚えて友達と楽しみたい」と参加した車いすの



スマートフォンのカメラの映像が投影されるスマートグラス。体験した人からは「お〜!」と歓声が!

中学生など若い世代の申し込みも多く、教える側も刺激を受けているそう。「パソコンでこんなこ

ともできるんだ!」と受講生が笑顔になる瞬間が1番うれしいと会員の皆さんは声を揃えます。

一方、区が主催するボランティア養成講座では講師を担当。長年培ってきた経験やノウハ

ウを生かしてマニュアルを作成し、障害やボランティア、ITについて多角的な講義を行っています。受講後、会員になる人も多いそうです。

「ボランティアをやりたい、得意なパソコンを生かしたい、地域でつながりたいなど、入会の理由はさまざま。会員の皆さんはそれぞれ得意分野を活かして活動しています」と、大隅さんは話します。

現在、会員は約40名。月1回の定例会では活動報告のほか、講師を招いて盲導犬について学んだり、最新の支援機器を体験したりと勉強会も実施しています。多様性に富み、地域で持続可能な活動に参加してみませんか?

■ NPO法人 練馬ぱそぼらん  
理事長：大隅 美智子  
問い合わせ：ホームページから  
<https://pasovolun.or.jp/>

### ■ パタゴニア日本支社「環境助成金プログラム」

【助成対象】 自然環境や動植物の保護など環境保護活動について長期的に問題解決のアプローチを行っている団体

【助成金額】 1件あたりの上限額：200万円

【応募期限】 2023年4月30日(毎年7月以降に実施されるプロジェクト)  
2023年8月31日(毎年10月以降に実施されるプロジェクト)

【関連URL】 <http://www.patagonia.jp/how-we-fund/>

【問い合わせ】 E-mail: grants.japan@patagonia.com

### ■ 公益財団法人公益推進協会「HTM基金」

【助成対象】 障がいや病気に悩む人々とその家族が抱える様々な問題に対して医療・福祉の支援活動を行っている非営利団体

【助成金額】 1件あたりの上限額：30万円

【応募期限】 2023年4月24日

【関連URL】 <https://kosuikyo.com/%E5%8A%A9%E6%88%90%E9%87%91-2>

【問い合わせ】 〒105-0004 港区新橋6-7-9 新橋アイランド

ビル2階 公益財団法人公益推進協会 HTM基金担当宛  
TEL: 03-5425-4201 E-mail: info@kosuikyo.com

### ■ 公益財団法人 草の根事業育成財団「草の根育成助成」

【助成対象】 東京都内に拠点を有する非営利の法人が行う次の事業  
①障がい者、生活困窮者や事故、災害、犯罪等による被害者の支援を目的とする事業／②高齢者の福祉の増進を目的とする事業／③勤労意欲のある者に対する就労の支援を目的とする事業／④児童・青少年の健全な育成を目的とする事業／⑤教育、スポーツ等を通じて心身の健やかな表現と豊かな人間性を涵養することを目的とする事業／⑥文化及び芸術振興を目的とする事業／⑦地域社会、コミュニティの健全な営みを目的とする事業

【助成金額】 1事業あたりの上限額：100万円

【応募期限】 2023年6月13日

【関連URL】 <http://www.kusanoneikusei.net/>

【問い合わせ】 公益財団法人 草の根事業育成財団 事務局  
〒182-0024 調布市布田1-15-9-403

TEL: 042-427-4278 E-mail: info@kusanoneikusei.net

ねりまワインプロジェクト

「日本農業賞〈食の架け橋の部〉奨励賞」受賞! & ねりまワイン2022完成!

「地産地消だから」ではなく「美味しいから」選ぶ練馬区産ブドウを100%使用した地域ブランドワイン(ねりまワイン)を開発し、23区最大の農地を誇る練馬区を「食農文化のまち」としてPRしていきたい!という想いをもとに活動するのが、「ねりまワインプロジェクト」の皆さんです。区内の畑でブドウを育て、地域の方々にブドウ栽培・ワイン醸造の体験や「ねりまワイン」と区内農産物を一緒に楽しんでもらうことで、都市農業の魅力を実感し、身近に「農」のある風景が根付くことを目的としています。

活動が始まったのは2018年。最初の3年間は、地域おこしプロジェクト実施事業として、区との協働で活動を進めてきました。現在は、活動全体を管理する約20名の事務局メンバーを中心に、活動目的に賛同する「ねりまワインファームメイト」、畑の管理作業を行う「栽培くらぶ」とともに活動を発展させています。

そんなねりまワインプロジェクトがこのたび、NHKとJA全国中央会、JA都道府県中央会が主催する「第52回日本農業賞〈食の架け橋の部〉奨励賞」を受賞!!



日本農業賞の賞状とトロフィー

食の架け橋の部は、食と農との距離を縮める個人や団体の取り組みに対して表彰されるものです。代表の越後屋美和さんは、「みんなで作り上げてきた活動や想いが認められて本当にうれしい」と笑顔で話してくれました。



ねりまワイン 2022

普段の活動やイベントでも、事務局のメンバーから「こんなことをやってみたい!」と多数のアイデアが出てくるそうで、今回の賞への応募もメンバーのお1人からの発案だったとか。

3月12日には、新作「ねりまワイン2022」がお披露目されました!今年、ねりまルージュ(赤)80本、ねりまブラン(白)300本(どちらもフルボトル換算)のワインが完成。着々と活動を広げたおかげで昨年の倍量をつくることができたそうです。「その年その年のブドウを生かしてつくったワイン。品種の香り漂うすっきりとした2022ならではの味を、ぜひ皆様に楽しんでほしいです」と越後屋さんは話します。みんなで少しずつ新しいことに挑戦し続けるねりまワインプロジェクト。今後の活動に注目です!

ねりまワインプロジェクトホームページ



令和5年度 やさしいまちづくり支援事業の助成団体を募集

～まちを笑顔にする地域のアイデアを応援します～

地域福祉や福祉のまちづくり活動を行う区民活動グループに活動費の助成や支援を行います。

●はじめの一步助成部門(助成限度額5万円)

これから福祉のまちづくり活動を始めるための準備段階にあたる活動を対象とします。

【活動例】・組織づくり ・活動の輪を広げるためのイベントや広報活動

●やさしいまちづくり活動助成部門(助成限度額10万円)

地域福祉および福祉のまちづくりの課題を解決するための活動を対象とします。

【活動例】・高齢者、障害者、子育て世帯等多様な人が交流できる場づくり  
・ユニバーサルスポーツの実践等を通じた相互理解の普及啓発活動

【応募期間】

令和5年4月3日(月)～4月21日(金) [必着]

【個別説明・事前相談】

令和5年4月19日(水)まで  
助成の要件や申請の手続きなどの説明やアイデアのまとめ方・書類の書き方などをアドバイスする事前相談を実施します。初めての応募にあたっては、必ず事前相談を行ってください。

【相談窓口・応募受付】 福祉部管理課ひと・まちづくり推進係 練馬区豊玉北6-12-1

TEL: 03-5984-1296 9時～16時(平日のみ) FAX: 03-5984-1214 「やさしいまちづくり支援事業」で検索



練馬区立区民協働交流センター(つながる窓口)

区民協働交流センター(つながる窓口)では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。



https://www.facebook.com/Nerimakoyodokoryucenter/



https://twitter.com/kyodo\_nerima



ホームページ

※過去の地域活動ニュースも掲載中  
http://www.nerima-kyodo.com/



練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索

練馬区立区民協働交流センター ツイッター 検索

練馬区立区民協働交流センター 検索

練馬 1-17-1 ココネリ 3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時～22時(12/29～1/3は休業)

事業の実施等により開館時間が変更となる場合があります。

★音声でお読みいただけます 「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。

ご希望の方は一步の会にお申し込みください。NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松 2-16-12 TEL: 03-3577-5666